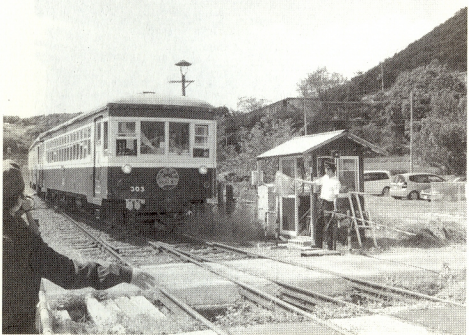
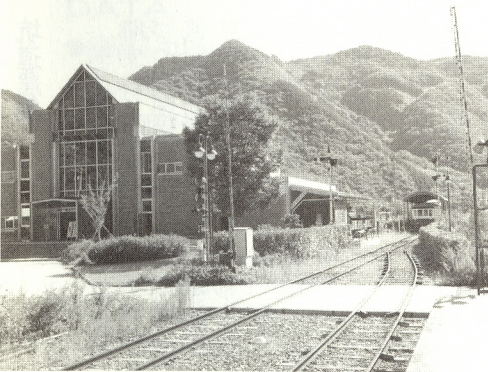




保存車両の運転 キハ07型気動車



踏切を通過する保存車両 キハ04型気動車



柵原鉦山ふれあい公園

多く、各々が鉄道マンの制服をまとい、真剣な眼差しのもと安全第一で行われている。通常旧国鉄のキハ04型2両(内1両は自社発注)とキハ07型が用いられており、運転は10時から11時30分までと、13時から15時までの30分毎となっている。乗車をするには、駅舎内の改札口で200円を払い「片上鉄道保存会」の一日会員となればよい。

今では新車両やエンジンの載せ替えて聞けなくなってしまうた

「定格出力180PS DMH17C」の独特の力強いというアイドリグ音の中、発車ベルが鳴り響きタブレットを受け取り信号が青になると、タイフォンを鳴らして柵原方面に向けて動き始める。懐かしいカンカンカンと鳴る踏み切りを越すと、16・7パールの上り勾配となる。時速20kmの走行で、場内信号機を越えたあたりの無人踏切の手前まで、約300mの走行となる。一旦バックして2番線に入り、再び往復して1番線に戻

ってくるのを基本運転としている。機関手・車掌・踏切・駅など相互で無線による安全確認を徹底しているの、折り返しの停車時間が長くなり、単純な2往復運転ではないので、乗車時間はそこそこになる。原寸大の鉄道模型とも言っているであろうか、鉄道模型のレイアウトに換算すると、1/80のHOゲージであれば3・75mの6帖相当分、1/150のNゲージでも2m巾となる。

やなほら  
柵原

# 片鉄ロマン街道へ

湯達 入郎

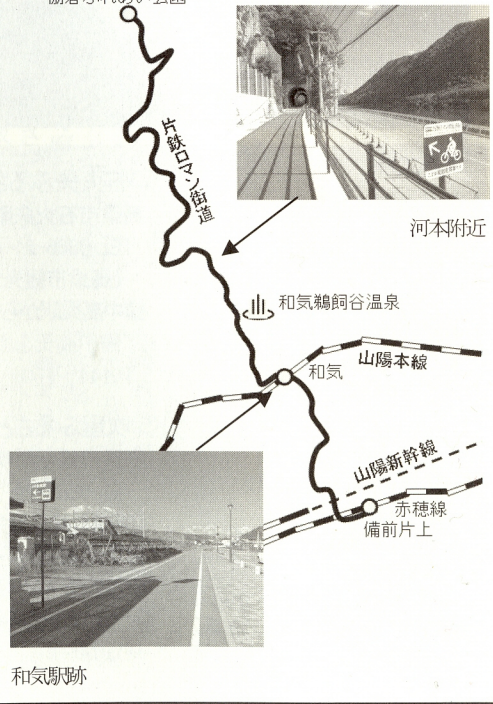


片上鉄道保存会

平成3年6月30日、岡山県備前市の片上湾に接する片上駅を起点にし、JR西日本の山陽本線の和気駅を經由して、吉井川に沿って北上、同県柵原町(現美咲町)の柵原駅を終点とする全線33・8kmの「同和鉱業株式会社片上鉄道事業所」が、72年間の歴史を閉じた。「片上鉄道」の使命は、柵原鉦山から採掘された硫化鉄鉱を、瀬戸内海の片上港まで輸送するものであった。昭和40年頃の最盛期には年間90万トン以上の硫化鉄鉱を産出していたが、海外から安い硫化

## 片鉄ロマン街道MAP

柵倉ふれあい公園



河本附近



和気鶏飼谷温泉

和気 山陽本線

山陽新幹線  
赤穂線  
備前片上

和気跡

鉄鉱が輸入されるようになり、需要が減ったため閉山と共に、鉄路も廃止となったのである。

元国鉄で活躍した戦前型の気動車や汽車旅に相応しい旧型客車が残っていたことから、鉄道文化の遺産とも呼べる貴重な車両保存の動きが高まり、有志によって平成4年11月1日に「片上鉄道保存会」が結成された。平成7年に解体を免れた11両を吉ヶ原駅跡地に集め、

平成10年11月に吉ヶ原駅跡地を整備し「柵原ふれあい鉦山公園」が開園した。12月に第一回の展示運転が実施され、平成17年11月には吉ヶ原駅舎が登録有形文化財に指定され今日に至っている。

展示運転は美咲町の委託を受けて、ボランティアによる18名の会員によって、毎月第一日曜日に行われている。会員は岡山県のみならず、広島県並びに関西在住者も

片上から吉ヶ原までの廃線跡をアスファルト舗装して整備したサイクリング専用のロードで、平成15年11月24日に開通している。台風で鉄橋が流された迂回区間以外は、国道374号線と吉井川に沿って、快適なサイクリングロードとなっており、プラットホームや信号機の他に、駅舎が完全に残っている所もあり、休憩だけでなく雨をしのげるようにもなっている。貨物の接続があった現JR和気駅の、山陽本線を跨ぐガーター橋は橙色に塗り替えられ健在であったが、線路跡は広場となって昔の面影はまったくなくなっていた。片上鉄道はここまでほぼ平坦であるが、このひとつ先の中山駅を過ぎると徐々に勾配がきつくなり清水トンネルを越すと片鉄ロマン街道の基点となる備前サイクルターミナルで、かなりの車が置ける広

### 片鉄ロマン街道

40分くらいかけて見学できる。

場になっている。沿道以外の利用者以外は、自転車をここまで搬送して利用することになる。一応この先もサイクリングロードとして整備されているが激下りの28・6パーミルとなり、山陽新幹線の真下が正式なサイクリングロードの起点となる。従って迂回などがあるため、34・23kmと鉄道のキロ数とは若干異なっている。この先も整備はされているが、JR赤穂線の西片上駅を過ぎた少し先で、道路



片鉄ロマン街道 旧片上駅跡、0kmポスト

### DATA

#### ●柵原ふれあい鉄道公園「柵原鉱山資料館」

久米郡三咲町吉ヶ原 394-2

TEL:0868-62-7155 FAX:0868-62-7156

開館時間 9:00～17:00

休館日 毎月曜日(祝祭日の場合は翌日)・12/28～1/4

入館料 500円(大人)300円(小人)

交通 路線バス JR津山駅から、中鉄バスで約35分、

JR和気駅から、備前バスで約45分

吉ヶ原(きちがはら)停留所下車 すぐ

車 津山・林野から約30分、美作IC・和気ICから約30分

URL: <http://www.ne.jp/asahi/katatetsu/hozonkai/>

### 柵原鉱山資料館



柵原鉱山資料館 復元された坑道

東洋一の硫化鉄鉱山として栄えた、昭和30年頃の鉱山や生活ぶりをセットで再現しており、1階には昔なつかしい鉱山町を実感できる実物大に造った「鉱山町のにぎわいコーナー」、鉱山や片上鉄道の歴史が分かる「柵原の歴史コーナー」、立体絵日記で見る炭鉱夫一家の暮らしの「炭鉱町のくらしコーナー」などと、貴重な映像で炭鉱町の歴史を見る「炭鉱町の映像コ



坑道農業浪漫館 坑道入口

ーナー」などが整っている。1階から地下1階へ下るエレベーターは、行先表示が『坑内』となっており、ゆっくりとしたスピードで臨場感に満ちた擬音が響き、地下400mでの採掘作業の雰囲気を感じられるようになっている。採掘から輸送までが分かる「鉱山町展示コーナー」、実物大の坑道が体験できる「採掘最前線コーナー」、蟻の巣のような鉱山の中を紹介した「立体鉱山コーナー」など、楽しみながら学べるようになっている。

### 坑道農業

展示運転日に合わせて午前10時30分と午後の13時30分の1回づつ、閉山となった柵原鉱山の坑道を有効活用した「坑道農業」を見学するツアーがある。定員は40名で「柵原ふれあい鉱山公園」内にある、「柵原鉱山資料館」で登録をしてから、マイクロボスで「坑道農業浪漫館」へ。ここで300円を払い、ヘルメットを着用の上坑道内部に入っていく。素掘りの坑道の足元は歩きやすいように、コンクリートで平らになっているが、坑内軌道のレールが残っている所もあり、廃線マニアには必見だ。坑道の一部は暗い上に背丈よりも低い所があり、ついゴツンとやってしまう。年間を通じて気温18℃と高湿度の暗闇の環境を生かして、ワインや純米酒の長期貯蔵、黄ニラやうどの軟化栽培、花苗発芽の調整、菌床椎茸栽培やイチゴ花芽分化促進などに活用されている。他に、酸素量を調整する高所環境トレーニング実験施設などを

に吸収されさらにネットフェンスで遮絶えてしまった。再開発で様子がかみにくかったが、なんとか旧片上駅跡に辿り着くと、バラストだけの廃線跡の線路だけが残っており、0kmのキロポストが夕闇に白く輝いていた。